



校区の成人式には、懐かしい出会いを楽しみに新成人が参加する。校区みんなで子どもたちの成長を祝う伝統行事だ



平成25年11月に行われた公民館主催の「史蹟めぐり」。70人が参加。阿蘇市や竹田市の名所旧跡をめぐった



「ふれあいフェスタinはるたけ」での盆踊り。大人も子どもも輪になって踊る



校区の歴史を知る目的もある三社詣り。大晦日の夜から元旦にかけて行われ、幅広い年齢の参加者がある



春竹校区自治協議会の南茂司会長(右)と春竹公民館の豊田史朗館長(左)

**春竹校区** (平成25年4月現在)  
人口計:14,655人  
世帯数:7,537世帯  
町内自治会数: 18

「**校区**」から子育てを！  
「**受け継がれてきた子どもたちへの想い**」  
は、古くから春竹校区に根付いてきました。その代表が、1月の「成人の日」に行われる、春竹公民館主催の校区独自の成人式です。春竹公民館の豊田史朗館長は「春竹校区の成人式は、平成26年で51回目を迎えました。もともとは、地域のお母さんたちが発案して、地元の青年たちの成人を祝い元気づけるために

思いや機運、伝統を次の世代へ伝えることにもつながっているようです。  
別所琴平神社で始まりましたが、現在は地域コミュニティセンターを会場に開催しています」と話してくれました。当日は小学校6年当時と中学校3年当時の担任の先生が式に参加し、かつての教え子たちと心の交流を行います。成人式の最後は、かつての先生たちの「贈る言葉」で締めくくられ、温かい雰囲気の中、子どもたちの成長を祝うのです。  
校区で子どもたちを見守ろうという想いは、地域の人たちによつてしっかりと支えられ、一つひとつの活動として、次の世代へと受け継がれているのです。

小学校の運動場に集まります。校区内の事業所や商店、春竹小学校・江原中学校両校のPTA、並びに、町内自治会、公民館の役員など、地域を支える多くの団体・組織がフェスタを盛り上げるために協力します。春竹校区自治協議会の南茂司会長は「ふれあいフェスタが、地域の人たち同士、そして子どもたちやお年寄りが世代に関係なくふれあう出発点となっています。人と人のふれあいこそが、地域で子育てをすることの『原点』だと思っています」と話します。「ふれあいフェスタ」に訪れる人たちの楽しみは屋台やバザー。校区の人たちが準備した屋台では、カレー、ソーセージ、綿菓子、ヤキソバ、金魚すくい、かき氷などが登場。昔懐かしい夜店の雰囲気がつづりです。そして、子どもたちが毎年わくわくしているのが、小学校の教室に作られる「お化け屋敷」。「子どもたちに春竹での楽しい思い出をつくってもらおうと、元PTA会長が中心となつ

て毎年行っています。これが子どもたちの最大の楽しみになっています」と南さんは語ります。この他にも、秋には春竹小学校PTAと校区まちづくり委員会が「ちびっこ相撲大会」を開催。もともと子どもの成長を願い、火の神奉賛会が別所琴平神社で開催していた伝統行事を、春竹校区まちづくり委員会が受け継ぎ、春竹小学校の体育館で開くようになりました。地元への応援が子どもたちにも伝わり、毎年熱戦が繰り広げられます。1月には、春竹公民館主催の三社詣りが行われ、校区内にある辛崎神社、前田神社、別所琴平神社を歩いてお詣りします。ふるさとの歴史を知ることや郷土愛を育み、春竹小学校から巣立っていく子どもたちに、ふるさとの思い出を心の財産として残すのが目的です。  
このほかに、校区全体を対象とした旅行も毎年実施。18の町内から多くの参加があり、交流を深めています。このような活発な活動が、校区内の